枚方市自立支援協議会精神障害者地域生活支援部会活動報告

基幹相談支援センター陽だまり
富谷優子

１．令和７年度の主な取り組み

拡大会議（5/23)、定例会（7/25、9/26、11/28、2/13、3/27)、プロジェクト会議（2/13 を除いて定例会と同じ日に開催）

・精神科長期入院患者への訪問面接を本格的に再開し、実訪問までを完了。

・「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた協議の場」推進に向けた協議の場を実施

２．令和７年度のテーマ別の活動実績

定例会及び事務局会議を通じ、以下の通り活動を進めました。

取り組みテーマ	活動内容と進捗
訪問面接の取り組みの再開	【訪問面接とは】 枚方市内にある精神科医療機関へ長期入院されている方々に対して、地域から訪問して面接する取り組みです。平成 24 年度から当部会にて実施していますが、コロナ禍は中断していました。令和７年度に段階的にプロセスを経て実施、再開に至りました。 【実施・再開の流れ】 ①枚方市内 3 か所の精神科医療機関へ事前説明実施（6 月～8 月） ②各医療機関での対象者の選定※（8 月～10 月） ③訪問調査員研修の実施（10 月 30 日） ④実際の訪問面接の実施（11 月～12 月） ⑤調査票の提出（1 月中） ⑥定例会で面接内容の報告と継続ケースの選定 ※今回の訪問面接の対象者は「概ね 1 年以上入院し、地域からの訪問を受け入れてくれる人（希望する人)、地域での生活に興味を持っておられる人、または訪問面接を通じて何らかの変化が期待できそうな人」としました。各医療機関から計 6 名が選出され、実際に面接できたのは 5 名でした。 「訪問面接」の愛称を「ふんわりステップ」に決定しました。
精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた協議の場	『制度や人、薬など時代と共に変わっていく精神保健医療のこれからと地域へ期待される役割について、講師の先生と一緒に、枚方市の精神医療の歴史を振り返りながら考える』をテーマに、大阪精神医療センター籠本孝雄先生をお招きし、今回のテーマに沿って講演をいただきました。精神保健に関するこれまでの歴史的

	背景、取り組みの変遷についての講義後実際の支援の現場における対応等について質疑応答が行なわれました。（2 月 13 日）
各委員の現場の状況と課題の報告と共有	精神部会では、多くの機関から委員を選出しており、それぞれの現場での現状や課題を報告し、質疑、共有等を行ないました。
プロジェクト会議の開催	訪問面接後に継続ケースとなった方々に関する近況や関りについて報告を行いました。部会定例会の後に開催しています。
事務局運営	定例会開催月以外の間の月に事務局会議を開催し、上記活動の企画・進行管理、次の課題の検討を継続的に行ないました。

3．令和 8 年度の取り組み内容と検討課題

・定例会にて、各機関の業務内容の説明を行い、各機関の業務内容等を知ることで連携の強化を図る
・支援者向けの研修会の開催や事例検討、当事者の話を聞く場の開催
・令和 8 年度の訪問面接対象者の選定と実施
・精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムに関する協議の場の開催
・その他、地域移行に向けて必要な社会資源、解決すべき課題の検討等

4．令和 8 年度のテーマ別の活動実績

取り組みテーマ	活動内容と進捗
各機関の業務内容の説明を行い、知ることで連携の強化を図る	7/24 の定例会にて、枚方市障害支援課、枚方市保健所保健医療課の業務についての説明と質疑応答を実施しました。次回は枚方市内精神科医療機関からケースワーカーの業務についての説明の予定です。
プロジェクト会議の開催	新たに加わった訪問面接継続ケースについての確認と、継続ケースの現状報告を行なっています。